

令和5年度

講習4日間の概要と配布する教材の概要

区 分	講 義 (会場大型スクリーン使用)	配布教材(当日受付で渡す)●：全員配布 ○：同一人へ重複配布しない	受講料を含む教材領価(円) 教材セットで領布	
概 説	A1 法令 講義 7月28日(金) 9:20~17:00 講師：吉田 隆司 (協会)	火取法と関連規則等の講義は火薬類取締法令集に依るが、それを総則、製造、販売、貯蔵、火薬類譲渡及び譲受、輸入、運搬、消費、廃棄、安定度試験、その他の12章36Pにまとめて編集し、A1テキストとした。36Pは繰り返し通読に適した量。 法令集は最新版が望ましいが2~3年以内に発行されたものでもいいので必携図書とし、折々に法令条文の本文を読んで理解を確かなものとする。改正された法令については補足資料を用意し講習で説明を行なう。 A1テキストをもとに1日講習用にA1講習スライドとして作成した。 講師は、火薬類メーカーで技術営業職歴40余年の協会専務理事が担当する。	●A1テキスト「火薬類取締法(法令)概説」A4版36P 協会編 適度のサイズのテキスト本として、改訂を重ねて作り上げて来た。 ●A1講習スライド A4版36P(1Pに6画面) 画面を補って講師が解説するコメントを聞いて欲しい。 ○昨年(令和4年)実出題の問題・解答用紙・正解表のコピー (各人の甲・乙受験種目別に配布。自己採点自習用) 実出題の見本。模試として取組み自己採点して誤りがあつた分野を再度見直して欲しい。	4600 + 送料1000 法令セット①
講 義	B1 火薬学 講義 7月29日(土) 9:20~17:00 講師：川村 実	「火薬学」は大学2単位の教科で、取扱保安責任者用の火薬学の教本は「火薬学」が最適で、必携の本としている。 大学2単位の教科を、1日間の講習で網羅的に解説する事は困難なので、講習用B1テキストとして「火薬学概説」41Pを作成し、通読に適する分量とした。 これを基にB1講習カーソルスライド作成し画面で効率的に解説する。 講師は火薬類の販売会社(株)ジャックスの社長である川村氏が担当し、長年の製造技術・消費技術指導等の知識・経験を基に丁寧に解説する。	●B1テキスト「火薬学概説」A4版41P 協会編 幾度も通読して欲しい。 ●B1講習スライド A4版40P(1Pに6画面) ○昨年(令和3年)実出題問題のコピー (甲・乙受験種目に応じて配布。自習用)	4600 + 送料1000 火薬学セット①
過 去 問 題 の 解 説	A2 法令 講義 7月30日(日) 9:20~17:00 講師：吉田 隆司 (協会) B2 火薬学 講義 7月31日(月) 9:20~17:00 講師：川村 実	「法令」「火薬学」共に、試験では、甲・乙共通問題10題、甲・乙の独自問題各10題が各出題される。過去問題数は、甲・乙両種目で毎年60題が蓄積される。 A2.B2講習では、「法令」「火薬学」の両科目共に、直近14年の過去問題各約400題から分野別に、代表的な問題、正解率が低かった難題等約200題を選んで基本資料とし、更に詳細解説に適した約150題を、順に ② 問題文の映写 ②各自解答—解答用紙に記入(後日進捗確認の為保存) ③ 講師による解答と解説(受講者への指名等も含む) A2は280画面、B2は282画面。受講者は、スライド資料にマークペン等で記入しつつ聞くのが効率的。 A2講師もA1と同じ、当協会の専務理事が担当。 B2講師は、B1と同じ火薬学に精通した川村氏が担当する。	●法令過去問題より選抜して講習スライドに作成。A4版50P ●法令は、平成28年~令和4年の7年分を年次順に並べた「過去問題集-1」と、平成21年~令和4年全420問の中から27の出題分野に割り振った各問題を、「正しい短文」群と、「誤りを含んだ短文」群に分けて構成した「過去問題集-2」を使用。A4版55Pと44P ○昨年(令和4年)実出題問題のコピー ●火薬学過去問題より選抜して講習スライド作成。 A4版49P(1Pに6画面) ●火薬学は、平成28年~令和4年の7年分を年次順に並べた「過去問題集-1」と、平成21年~令和4年全420問の中から32の出題分野に割り振った各問題を、「正しい短文」群と、「誤りを含んだ短文」群に分けて構成した「過去問題集-2」を使用。A4版49Pと32P ○昨年(令和4年)実出題問題のコピー	4600 + 送料1000 法令セット② 火薬学セット②
4日間共通の時間割	9:00~ 受付・入室 9:20~ 開 講 12:00~13:00 昼 食・休 憩 16:30~17:00 質疑応答の時間		法令セット①② 10,200円 火薬学セット①② 10,200円 法令・火薬学セットの場合 19,400円	

「教材さえ入手すれば、受講せず自習で…」とする考え方もありますが、最も能率的で効果ある受験準備方法と確信して、受講をお勧めします。